

経理のキャリアを活かせる「SAP」

フリーランスのIT人材として、 40代からの新たな挑戦

太田さん

講座名 ぐんま女性IT人材育成講座(SAP講座)

家族構成 夫、子ども2人(高校生、中学生)

プロフィール 医療機関や製造業などで、経理や事務職として経験を持つ。転職を考えていたため、講座を受講。今後はフリーランスとして、在宅ワークで就労予定。



\\ 記事のポイント //

- 40代後半という年齢を考え、働き続けるには「新しいスキルを身につける必要がある」と思ったことが受講のきっかけ
- 未知の分野の「SAP(エスエーピー)」でも、学習にはこれまでの経理のキャリアが役立ち、黙々と取り組むようなシステムのテスト業務は自分に向いていることも発見
- 今後はフリーランスとして業務を受託し、在宅ワークでの就労を予定

「SAP」を学ぶぐんま女性IT人材育成講座(以下、SAP講座)へ参加しようと思ったきっかけを教えてください。

パートで勤めていた当時の勤務先からの転職を考えるようになったことです。だけど、現在40代後半、50歳という年齢が見えてきているなか、再就職をするためには「何か新しい技術を身につけないと」という思いがありました。そんなときに知ったのがITスキルの習得を目指すMAIT SURUプロジェクトです。ただ、ITといったときにイメージを持つ、お客さんと打ち合わせをして希望に沿ったシステムを設計・構築し

ていくような仕事や、本格的なプログラミングを組む技術は、簡単には身につかないとも考えていました。

SAPという言葉も知りませんでした。「大変なのかな」と思いつつも、ひとまず、オンライン説明会に参加してみることに。すると、知識やスキルを身につけて講座の修了試験に合格をすれば、企業で実際にSAPシステムを稼働させる前に、テスト環境でシステムが予定どおり動くかテストをするという業務を受託できることを知りました。

「テスト業務なら自分でもできそう」就労につながるのも心強い」と思い、受講を決めました。

講座は140時間分あり、時間を捻出するのは大変だったと思います。どのように学習を進めましたか？

講義はオンデマンド配信形式で、動画をまとめて見たり、分からないところをいつでも見返したりできたことが良かったです。子どもたちはもう高校生、中学生と手のかからない年齢なので、仕事が終わる夕飯の準備をする前の午後3時頃からの1〜2時間、家事の落ち着いた午後9時〜10時に講座を視聴するなど、隙間時間を使って学習を進めました。

「SAP」という専門分野の

学習に取り組んだ感想はいかがですか？

内容は理解しやすく、学ぶのにあまり苦労した記憶がありません。SAPは未知の分野でしたが、これまでの経理職でのキャリアが役立ちました。SAPは財務管理システムの機能もあり、会計帳簿や財務諸表に関する知識など、すでに私が身につけている知識が求められるものでした。また、購買業務の経験もあったので、発注業務や在庫管理など、講座で学ぶ必要のあった業務知識についても理解しやすかったです。

とはいえ、講座修了のための試験は大変でした。この試験に合格しないと、今後の就労案件の紹介を受けることができません。試験は筆記試験と実技試験の2つがあり、特に筆記試験は制限時間が決まっている一発勝負で、問題数も多いので緊張しました。

SAP自体は私にとって新しい分野だったので、一つのことを学び終えたことが自信になりました。――受講は順調に進んでいたのですね。モチベーションはどのよう

に保ちましたか？

私には自分の年齢を考えたときに「とにかくこの講座を修了しないと、もう仕事にありつけないかもしれない」という焦燥感がありました。これがいざばんの原動力です。そのほかには実際に顔を合わせた集合研修ですね。2回の集合研修のうち、私は1回しか参加できませんでしたが、その研修で講師の方が「この講座を受けようと思った時点で皆さんは意識が高い。だから自信を持つてください」と鼓舞してくれました。その言葉が心に響き、励みになりました。

それから、講座内に用意されていたチャットツールは、質問を投稿したり、他の人の質問を見ることができたりしました。同じところで悩む人や遅い時間でも勉強している人の存在が、とても刺激になりました。質問に丁寧に返信してくれるメンターの方がいて、気軽に質問できる環境もありました。画面の向こうに、一緒に頑張っている相手がいるというのは心強かったです。

――今後の就労予定について教えてください。

SAP人材として、講座の運営事業者の紹介を受けて、システムが実際に稼働するかテストする業務に携わっていきたくと考えています。自分の性格を考えたときに、ソフトが想定どおりに動くかを確認していくような、黙々と二つのことに集中して取り組む仕事は合っていると感じています。また、テスト業務は在宅で就労可能です。夫が仕事で多忙なので、子育てをしながらの就労を考えたときに、自宅で仕事ができることは心強いです。これまでのパート勤務と同様、一日4時間程度を週5日間、月80時間程度の就労を思い描いています。

受講前は「在宅で仕事ができたらいいな」とか、「どこかに働きに出るのかな」とふんわりと考えていたのが、受講後は「この仕事ができる」と思えるようになりました。

――今後、挑戦してみたいことはありますか？

ワードやエクセルなどの「マイクロソフトオフィススペシャリスト」の資格を取りたいと思っています。資格は「私はこんなことをここまでできます」という証明になると思うからです。具体的にいつまでとは決めていませんが、実際に自分で行動を起こしてみる大切さをこの講座から学びました。

私にとって、「勇気を出して新し

いことに一歩踏み出してみる」ことの勇気をもらえた講座です。

――講座の受講が自身の適正を

生かした新たな働き方につながったのは本当に良かったですね。ありがとうございました。

IT人材育成 × 女性就労支援 MAITSURUプロジェクト 2024

ぐんま女性IT人材 育成講座(SAP講座)

SAP(企業の運営や管理を効率化するための基幹業務システムで、世界中の企業で導入されている)に関する業務知識等習得する講座で、2024年10月～25年2月(受講時間:約140時間)に30名が受講。講座の修了試験に合格すると、システムのテストや運用マニュアルの作成など、在宅ワークが可能な業務委託案件の紹介を受けることができ、フリーランスとして就労する。



140時間の受講は進捗を管理しながら進めたそうです